

第2章 目指す姿と基本目標

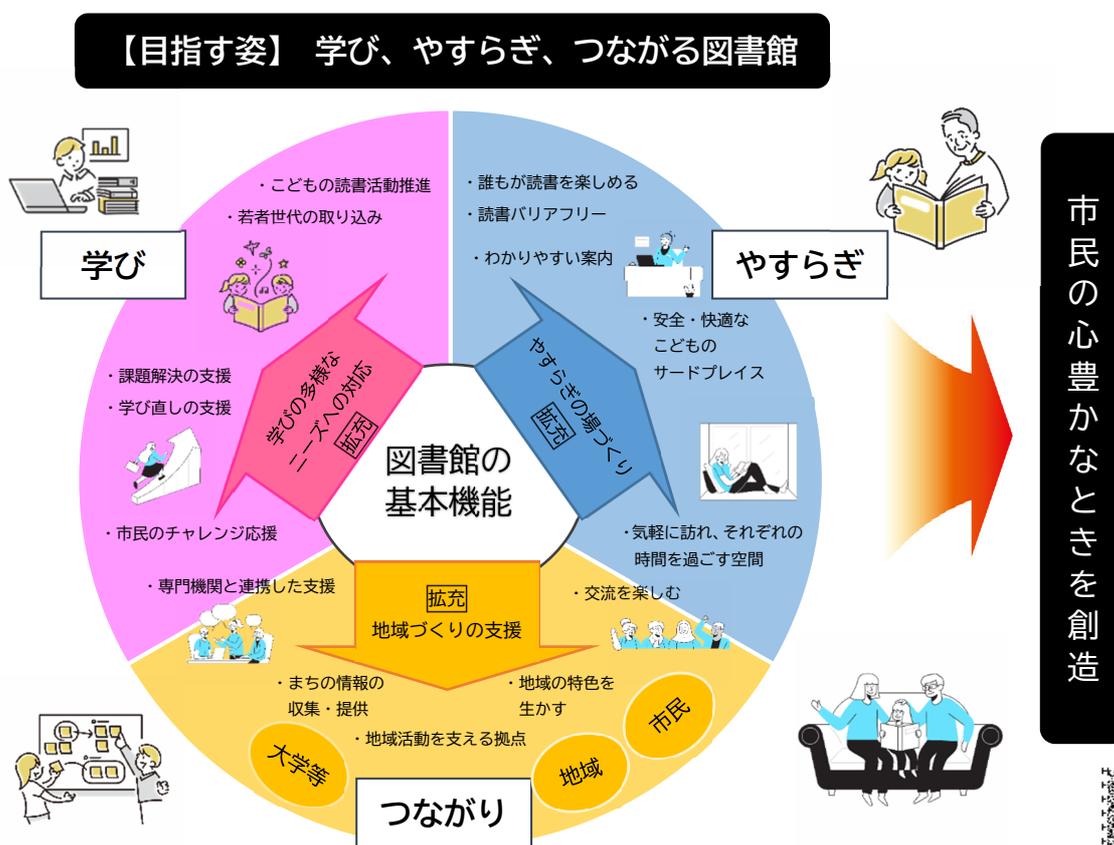
1 北九州市立図書館が目指す姿

目指す姿：学び、やすらぎ、つながる図書館

これからの図書館は、人生100年時代における多世代共生社会やこどもまんなか社会などの実現に向けて、その機能や役割の拡大と充実が求められています。

北九州市立図書館では、「学び」、「やすらぎ」、「つながり」という3つの場の創造を通じて、図書館の機能や役割を拡充させ、市民の心豊かな時の創造を目指します。

- 図書館は、資料や情報の収集・提供といった基本機能を充実させるとともに、こどもの読書活動の推進や社会人の学び直し支援など、市民の多様な学びのニーズに応え、市民が生涯にわたって**学び**を深められる場をつくります。
- 図書館が市民により利用されるよう、「使いやすさ」「わかりやすさ」を向上させます。また、市民が誰でも気軽に訪れ、のんびりと気がねなく過ごせるよう、**やすらぎ**の場をつくります。
- 図書館を活用して市民が集い、様々な活動を行うことができるよう、人と人、人と地域が**つながる**場をつくります。



2 基本目標

北九州市立図書館が目指す姿を実現するために、次の4つの基本目標を定めます。

基本目標1



学びを支え、豊かなときを創造する図書館

人生100年時代において、市民が生涯にわたって読書を楽しみ、学びを深められるよう、図書館の専門性を生かした支援を充実させます。

市民の学び直しやスキルアップといった幅広いニーズへの対応や、子どもや若者の読書活動を推進するための働きかけなど、学びを支えることで、市民の豊かなときを創造します。

基本目標2



誰もが利用しやすく、やすらげる図書館

全ての市民に対して、開かれた図書館を目指します。蔵書の充実とあわせて、障害の有無や国籍の違い等にかかわらず、誰もが利用しやすい環境づくりを推進します。

また、図書館の魅力や利用しやすさを感じてもらえるよう、利用者への適切な支援や利用者拡大のための取組を行います。

さらに、市民がそれぞれの目的に応じて利用できるよう、使いやすく安全・安心な空間を創出します。

基本目標3



多様な主体とつながり、共に成長する図書館

これからの図書館は、地域活性化・まちづくりの拠点となる施設の1つとして、幅広い市民や企業・団体などのさまざまな主体と手を取り合って、市民が主体の地域づくりを支援していくことが求められています。

そういった様々な主体と連携しながら、市民の心豊かな生活を支え、地域に根差したまちづくりに貢献します。

基本目標4



未来につなぐ図書館

図書館を取り巻く状況は大きく変化しており、図書館も市民からの多様なニーズや社会の状況に柔軟に対応しながら、運営方法の工夫や検討を行う必要があります。

今ある図書館の資源を生かしながら、デジタル技術の活用、持続可能な運営方法へのチャレンジなど、将来の課題を見据えて、未来へつないでいける図書館づくりを行います。

